

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
☎ 042-795-7361 (FAX: 必
要に応じて186を頭に加える)
議会 042-724-2171
yoshidaben@gmail.com



川西町への町田市の災害支援の広がり

(町田市の川西町への災害ごみ収集の支援) まず、昨年8月5日の大雨災害の支援で、町田市は環境資源部の人員、ごみ収集課のごみ収集車両(パッカー車と小型トラック)が8月8日から出動していました。期間は20日までで、合計4回、毎回6人体制で、現地支援を行っています。そのことは視察で確認した双方の文書、説明資料で裏付けることができました。さらに、重要なことですが、川西町には他に、奈良県川西町と、兵庫県川西市から、同様な応援(同名の川西と言う名称の自治体の交流)が、お盆明けに入っています。さらに、その他に、山形県市町村広域相互支援も、お盆明けに入っています。



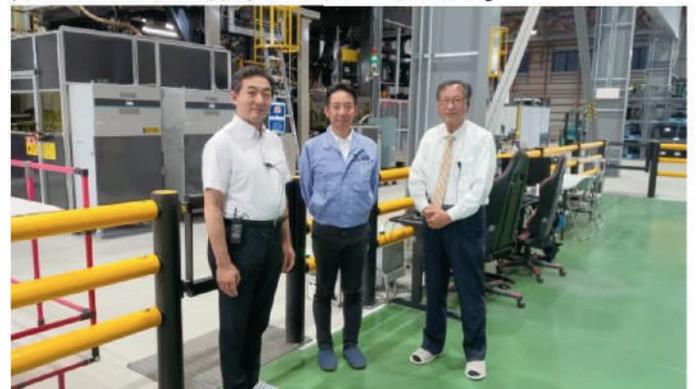
町田市は被災後の初動部分(8月8日)から入り、災害ごみの発生に関して、その処理と処分に関して復旧の土台を作ったと、川西町が作成した映像と資料で説明を受けました。町田市は阪神大震災(西宮市)や長野市水害の救援などで、ごみ処理の救援を行った経験のノウハウが蓄積させているためのものと理解しています。*前市長時代にごみ収集業務の民営化(直営部門の一部を残す)を決めていましたが、今回の出動を含めて、直営部門の車両、職員が派遣出動しています。

米沢市に進出：自動車部品工場

米沢市の工業団地に進出した、自動車内外装部品製造の三井屋工業株式会社 東北事業部を訪ねました。この日は、愛知県豊田市より高橋直輝社長にも駆け付けていただき、奥田照彦東北事業部部長、山田勝則主査の3氏より、受け入れと説明をいただきました。

三井屋工業株式会社は、トヨタ自動車などの自動車メーカーに部品供給を行う、いわゆる下請けという部類の企業になります。

その工場は、大半を自動化した大型装置を配置した工場であり、就業者を極力減らしたタイプの工程管理がモニターに数値化されたスタイルが特徴でした。いわゆるトヨタ自動車採用している(していた)看板方式が、今のパソコン、タブレット方式に切り替わった方式に見えました。その生産システムの積み上げは、自社ソフトとなり、外販が可能な生産管理ソフトに成長していました。



工場現場と言うのは、如何に不良品を減らすかが課題(コストダウン化)ですが、これを人によるチェックから機械によるチェックに転換を図り、不良品の発生を激減させていました。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、
夏季の第52期生を募集開始

ブランド牛革のランドセルが発売される

高級牛肉として有名な米沢牛ですが、その皮革は廉価で輸出されるか、廃棄されていました。そのことを「もったいない」(江戸時代の旧米沢藩：上杉鷹山)の精神で、生活に活かせるものを地域の特産品として活用できないかと考えた人に今回の米沢視察でお会しました。

和装コート(着物の上に羽織る)を自社工場で生産する「おとづき商店」(弟月千代子社長)が、米沢牛革製高級ランドセルとして3年の年月をかけ、来年の新1年生に使ってもらおう計画を、今年の2月に発表し、現在予約発売中で、来年年明けに納入を予定してとのことでした。牛革製と名乗るには、製品の65%以上が牛革であることが必要ですが、「プレミアム」は70%以上の牛革を用いられているとのことですが、高額です。他に、牛革を減らしたハイブリッドタイプも用意されていました。

おとづき商店の弟月千代子社長は、企画を担当する立場以上に、米沢牛の食肉公社による原皮の確保、天然なめし業者のなめし作業、牛革加工業者による製品加工、ランドセル製造業社のネットワークを創り上げ、その販売先も有名な大手デパート業者と提携を結ぶ着実性を発揮していました。



ブランド力についての認識の差について

無所属会派視察で米沢市ブランド戦略課を訪ねました。自治体が地元の産品をバックアップして全国ブランドに押し上げようというものです。米沢市は、大型の工場団地の入居が順調でした。*三井屋工業株式会社の記事を別掲。

担当職員の方で名刺入れが米沢織のものを持っていた方があり、私は博多織のものを持参していましたが、その博多織をご存じの方が一人もおられませんでした。国産繊維産業の衰退化を再確認しました。



二つの名刺入れ、右が博多織、献上柄と言います。左が米沢織です。

ちなみに、昨今話題の「マザーハウス」という企業名、ブランドについて尋ねました。すると、同じようにどなたもご存じありませんでした。バック類をバン格拉ディッシュで製造し、日本国内の有名デパートで販売され好評を博しているものです。社会貢献企業から、物の価値自体が評価される商品を作り出す企業評価に転換することを現実化していると言える企業ですが、まだまだなのでしょう。その日、米沢駐在のNHK記者の方に尋ねると、「皆、知っていますよ」との答えでしたが、その記者が若い女性であることで明快な答えになったのでしょうか。また、「ユーグレナ」は知っていますかと尋ねると、全員に知られていました。どちらも、私の元インターン生が創業し、現在も社長ですが、ブランド力の差を再認識しました。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年3月末までに104名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。